

中野ブロードウェイ

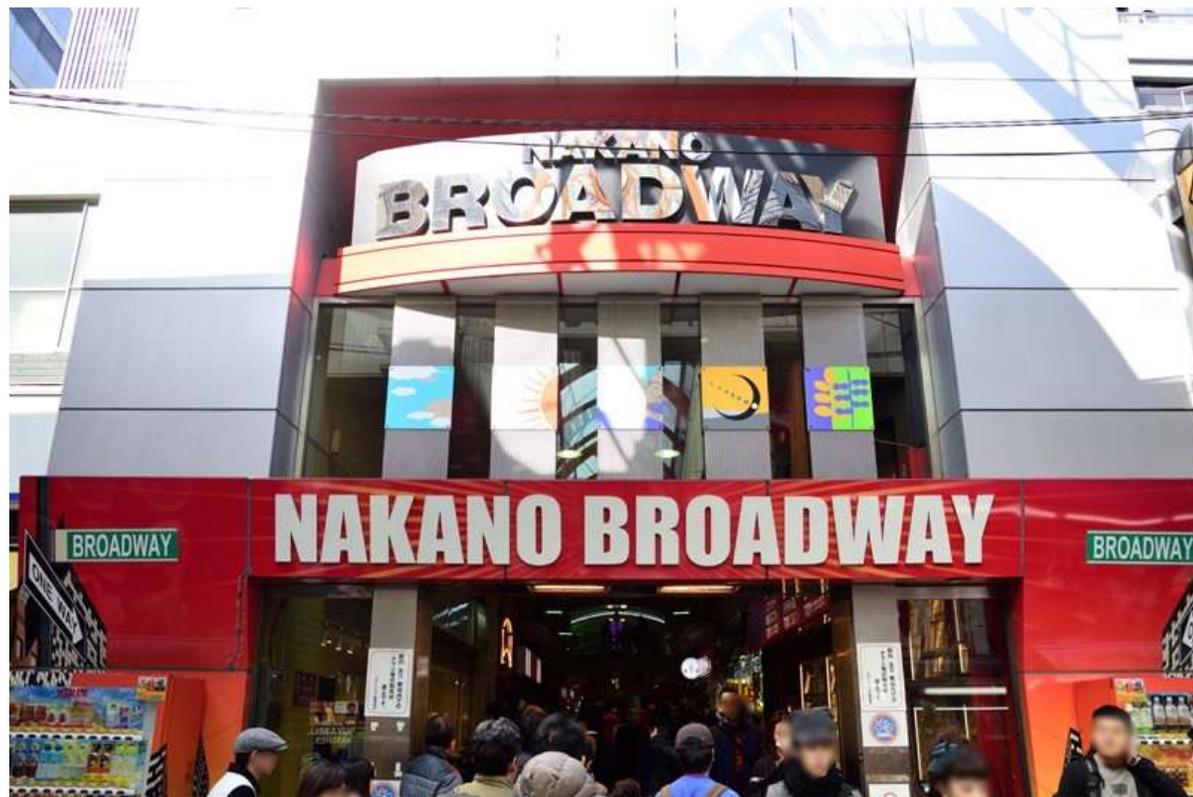
18N1084 谷中亮太

## 基本情報

1966年に建設された、JR中央線などが通る  
中野駅北口を出て徒歩5分の場所にある複合ビル

低階層はショッピングセンター、中・高階層はマンションと  
なっている。

商業施設には漫画やゲーム、アニメなどの店が多く  
サブカルの聖地と呼ばれることもある。



## 計画の始まり

元々中野ブロードウェイの敷地は木造家屋が密集する地域であった。中野駅北口から続く現在の中野サンモール商店街がそこで行き止まりになっていたため、地元有志の発案でここをまとめて買収してビルを建て、1階に裏の早稲田通りに抜ける広い通路を作るという計画から始まった。



早稲田通りからの入り口



## サブカルの聖地になるまでの流れ

最初は漫画やアニメのお店ではなく食品や服飾、雑貨や書店などが大半だったが、新宿や池袋、吉祥寺などの近隣商店の発達などにより、集客力の低下が起こった。その結果閉店する店も増え、人通りも減少した。

その中で空き店舗に積極的に出店したのが「まんだらけ」という店である。実際こういった店は、JR中央線の都西部はアニメ制作会社や大学などが多く、顧客層が多い土地であった。まんだらけの出店を皮切りに漫画やアニメのグッズの個人経営店も増えた。

こうして人通りが増えた結果新たなテナントも参入し地元民も利用する商業施設となり、サブカルの聖地とまで呼ばれるようになった。



## 2F



1階に比べると2階や3階はサブカル向けの店が多い





2階吹き抜けから見る1階

窓がないので外光もない。色々な店が混ざり合い分かりにくい空間は逆にサブカルの聖地として馴染んでいるようにも思える。

2階や3階はずっと似たような風景が続くので、どこにいるか分かりにくい

